

子どもと向き合おう！

3 エピソード

忙しいお母さん、話を聞いてほしい太郎君

康子さんは、フルタイムで働いています。夫の篤史さんも会社勤めです。夫の篤史さんは、つい最近部所が変わったばかりで気苦労が多く、疲れて帰ってくる日が多くなりました。共働きの2人には、保育所に通っている3歳の太郎君がいます。

今日は、康子さんの職場の仕事が特別いそがしく、帰宅が遅くなり、夕食作りにあせっています。

そこへ、3歳の太郎君が来て、後ろからお母さんのエプロンのひもを引っ張りながら、「おかあさん」「おかあさん」と話しかけてきます。

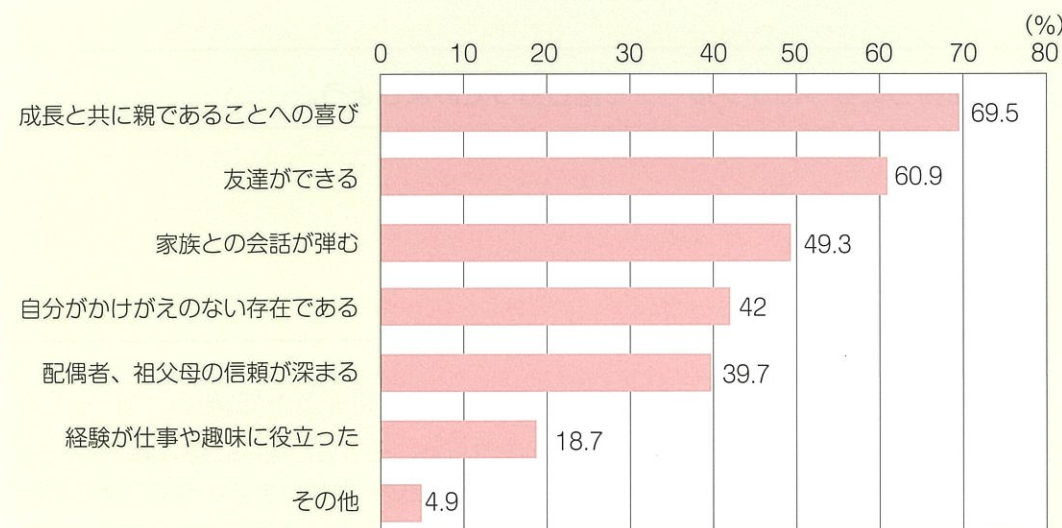
康子さんは、イライラのあまり、後ろにいる太郎君に振り向きもせず、「あとで」と言ってしまいました。



場面 台所で、夕食を作っているお母さん。お父さんが帰ってくる時間を気にしながらあせって食事を作っているイライラのお母さん。お母さんのエプロンのひもを引っ張りながら、「おかあさん」「おかあさん」と呼びかける太郎君。

参考資料

子育てで何が楽しいか



※「とやまっ子のすがた」 平成16年3月 富山県教育委員会

グループワーク

1 あなたにもエピソードと同じような経験はないでしょうか。その時の経験をできるだけ客観的に書くとともに、その時どんなことを考えたかも書いてみましょう。

経験した出来事：

そのとき考えたこと：

2 それぞれの立場になったとしたら、どんなふうに思いますか。ワークシートに書き込んでみましょう。

康子
(お母さん)

篤史
(お父さん)

太郎
(3歳)

3 それぞれの立場になって感じたことをグループで話し合ってみましょう。

メモ：

4 子どもと向き合っていくためにどうしたらよいと思いますか。ワークシートに書き込んでみましょう。

5 子どもと向き合っていくためにどうしたらよいと思うか、グループで話し合ってみましょう。

メモ：

